

富士見市第二期子ども・子育て支援事業計画 前回調査票からの変更案

資料1

- 【方針】①国の必須項目は、全問採用。ただし聞き方については、前回の状況を踏まえて変更(簡略化など)。  
 ②国の任意項目は、必要に応じて採用。前回サービス見込み量の算出にあたって未使用だったものは、優先順位を鑑みて削除を検討。  
 ③前回市独自項目は、前回の結果を確認のうえで採用するか検討。また、サービス見込み量算出のためではなく、子育て施策の検討に活用する設問を中心に追加。

ニーズ調査項目の比較(網かけは削除項目案となります。また、新規案は別紙の通りです。)

国・県の調査票					富士見市の調査票				
大項目	No.	設問内容	国	県	市	前回調査票の問番号		今回変更する点	
						就学前	小学生		
						No.	No.		
居住地域	1	居住地区	必須			1	1		
家族の状況	2	子の生年月	必須			2	2		
	3	兄弟数・末子の生年月	任意			3	3		
	4	回答者の続柄	必須			4	4		
	5	配偶者の有無	必須			5	5		
	6	子育てを主に行っている者の続柄	必須			6	6		
子どもの育ちをめぐる環境	7	子育てに日常関わる者(施設)	任意	必須		7	7		
	8	子育てにもっとも影響する環境	任意			8	8	任意項目、かつ施策への影響がすくないため削除検討	
	9	9	日頃、子をみてもらえる親族・知人	任意	必須		9	9	
		9-1	親族にみてもらっている状況	任意	必須				
		9-2	知人にみてもらっている状況	任意	必須				
	10	10	子育てを相談できる人・場所の有無	任意	必須		10	10	
		10-1	相談先	任意	必須		11	11	選択肢に「子ども未来応援センター」等を追加予定
11	子育てに必要なサポートの希望	任意				12	12	自由記述形式	
保護者の就労状況	12(1)	12(1)	母親の就労状況	必須			13(1)	13(1)	
		(1)-1	就労日数・就労時間	任意					
		(1)-2	家を出る時刻・帰宅時刻	任意			14(1)	14(1)	3. 家を出る時間と4. 帰宅時間 については削除 (ニーズ量算出に用いた項目はパートタイムの就労時間のみだったため(下限時間を確認))
	12(2)	12(2)	父親の就労状況	必須			13(2)	13(2)	
		(2)-1	就労日数・就労時間	任意					
		(2)-2	家を出る時刻・帰宅時刻	任意			14(2)	14(2)	3. 家を出る時間と4. 帰宅時間 については削除 (ニーズ量算出に用いた項目はパートタイムの就労時間のみだったため(下限時間を確認))
	13(1)	母親のフルタイムへの転換希望	必須			15(1)	15(1)		
	13(2)	父親のフルタイムへの転換希望	必須			15(2)	15(2)		
	14(1)	母親の就労希望	必須			16(1)	16(1)		
	14(2)	父親の就労希望	必須			16(2)	16(2)		
*	無償化の際働き方に変化はあるか					新規		新規案1 (幼児教育・保育が無償化された場合の働き方の変更を母親・父親別に把握)	
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	15	15	利用の有無	必須			17		
		15-1	定期的にご利用している事業	必須			18		
		15-2	利用頻度・利用時間(現在/希望)	必須			19		
		15-3	実施場所	任意	必須		20		
		15-4	利用している理由	任意	必須		21		
		15-5	利用していない理由	任意	必須		22		
	16	16	利用を希望する事業	必須			23		新規案2 聞き方の変更(幼児教育・保育無償化の影響を把握)
		16-1	利用したい場所	任意	必須		24		
*	施設を選ぶときに重視する点			市独自	25				
地域の子育て支援事業の利用状況	17	17	地域子育て支援拠点事業の利用状況・頻度	必須			36		子育て支援センター等
		*	利用していない理由			市独自	37		
	18	18	地域子育て支援拠点事業の利用希望	必須			38		子育て支援センター等
		*	利用者負担があっても利用したいか			市独自	39		前回87.3%が「思う」と回答 特に経年で見る必要はないと考えるため削除
		*	負担金がいくらまでなら参加するか			市独自	40		上記問39を削除するのであれば付問であるため削除
19	事業の認知度・利用状況・利用希望	任意			41				
土曜・休日や長期休暇中の「定期的な教育・保育事業の利用希望	20(1)	土曜日の利用希望・頻度	必須			32(1)			
	20(2)	20(2)	日曜・祝日の利用希望・頻度	必須			32(2)		
		20-1	たまに利用したい理由	任意			33		
	21	幼稚園利用者の長期休暇中の利用希望・頻度	必須			34			
21-1	たまに利用したい理由	任意			35				

国・県の調査票					富士見市の調査票			
大項目	No.	設問内容	国	県	市	前回調査票の問番号		今回変更する点
						就学前	小学生	
						No.	No.	
病気の際の対応	22	病気で教育・保育事業が利用できなかったことの有無	必須			26	17	
	22-1	対処方法	必須			27	18	
	22-2	病児・病後児のための保育施設等の利用希望・頻度	必須			28	19	
	22-3	希望する病児・病後児のための保育施設等の事業形態	任意					任意項目、優先度低いため不採用
	22-4	利用したいと思わない理由	任意			29	20	
	22-5	仕事を休み子どもを看たいと思ったか	任意			30	21	
	22-6	休んで子どもを看られない理由	任意			31	22	
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	23	不定期に利用している事業の状況・頻度	必須			42		
	23-1	利用していない理由	任意					任意項目、優先度低いため不採用
	24	不定期に利用する必要がある事業の有無・利用希望日数	必須			43		
	24-1	希望する不定期の教育・保育事業の形態	任意					任意項目、優先度低いため不採用
	25	泊まりがけで家族以外に看てもらった必要があったかと、その際の対処方法	必須			44		
25-1	困難度	任意					任意項目、優先度低いため不採用	
小学校就学後の放課後の過ごし方	26	低学年の放課後の居場所・頻度	必須			45	23	
	27	高学年の放課後の居場所・頻度	必須			46	24	
	28	土曜日、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望・頻度	任意			47(1)(2)	25(1)(2)	
	*	土曜日、日曜、夏休みなどの他の小学校の放課後児童クラブの利用希望			市独自		26	
	*	放課後児童クラブに希望する指導内容			市独自		27	自由記述形式
	29	長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望・頻度	任意			48	28	
職場の両立支援制度	30	父母の育児休業の取得状況	任意			49		
	30-1	育児休業給付、保険料免除の認知度	任意					
	30-2	育児休業後の職場復帰の状況	任意			50(1)(2)		
	30-3	育児休業後の職場復帰と保育所入所のタイミング	任意		市独自	52		
	30-4	育児休業後の職場復帰までの期間(実際/希望)	任意		市独自	51		
	30-5	育児休業が3歳まで取得可能であった場合	任意					
	30-6	希望時に職場復帰しなかった理由	任意					
	30-7	短時間勤務制度の利用の有無	任意			53(1)(2)		
	30-8	短時間勤務制度を利用しなかった理由	任意			54(1)(2)		
	30-9	1歳で必ず利用できる事業がある場合	任意			55		
31	子育ての環境や支援への満足度	任意					任意項目のため不採用	
子育て全般	*	住んでいる地域の子育て環境や支援の満足度			市独自	56	29	点数のみだと施策内容の検討につなげにくい優先度低
	*	子育てに関する情報の入手源・今後の希望				新規	新規	新規案3 (子育て施策に関する情報源の状況や今後の意向を把握) 平成29年より開始した「スマイルなび」についての利用状況についても把握
自由意見	32	子育てに関する自由意見	任意	必須		57	30	

※国は、量の見込みの推計上必要な項目を「必須」項目として指定しており、必ず実施する項目となります。

※県は、国の任意項目の中でも、事業計画作成等に必要と考えられる項目を「必須」としており、必ず実施する項目となります。

※国及び県の調査票及び必須の判断は、「就学前児童」対象調査を基本としていることから、「小学生」対象調査にはそぐわないものも多く含まれます。